



会員増強
拡大月間

高崎セントラルロータリークラブ

会長 / 橋爪 良真 幹事 / 関口 朋克 クラブ会報委員長 / 女屋 義明

2011～2012年度 国際ロータリーのテーマ
国際ロータリー会長:カルヤン・バネルジー

「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」
Reach within to Embrace Humanity



2011～2012年度 クラブテーマ : 『心の器をひろげよう』

[本日の例会] 会長の日、雑誌の日

[次回予定] 8月16日(火)休会

8月23日(火)卓話 草場 学様(ギター演奏)

・・・例会報告 / 8月2日(火)・・・

■被災ピアノ復活チャリティコンサート

希望の音色 響く

上毛新聞(2011年8月3日)より

東日本大震災で津波被害に遭った岩手県宮古市のジャズ喫茶のピアノが、高崎市の楽器店での修復作業を終えて復活した。里帰り前の復活コンサートが2日、市総合福祉センターで行われ、オーナーの堀内繁喜さん(42)＝盛岡市＝や高崎市民ら230人が見守る中、震災前と変わらない音色を響かせた。

コンサートは高崎セントラルロータリークラブ主催で、高崎市在住のピアニストの沢田まゆみさんと甲賀英明さんが演奏協力した。沢田さんは、このピアノの故郷・ウィーン出身のシューベルトと堀内さんが好きなショパンの楽曲、甲賀さんはオリジナル曲の即興演奏や「月の砂漠」のジャズアレンジを披露した。

堀内さんは妻の織江さん(35)、長男の楽斗君(10)と来県。海水をかぶったピアノを思い出して声を詰まらせながら、「もう駄目かと思ったけれど音が戻り、コンサートまで開いてもらえてうれしい。群馬の皆さん、ぜひ岩手の店に来てください」と語った。

被災したピアノは1939年にウィーンで製造されたベーゼンドルファー。鍵盤まで海水に漬かって部品も損傷。自宅は全壊し、店も休業という堀内さんを勇気づけたいと、購入元のピアノプラザ群馬(高崎市問屋町西)の技術者が無償で修復を引き受け、復活を遂げた。

堀内さんは宮古市を離れ、盛岡市で店を再開。ピアノの件を報道で知った、みどり市の男性からレコードプレーヤーの寄贈もあり、新天地での経営は徐々に軌道に乗り始めた。ピアノは5日に岩手へ戻り、地元での復興ライブが予定されている。



橋爪良真会長挨拶

あの3・11の大震災による40メートルにも及んだといわれる宮古市の大津波から奇跡的に生き延びたピアノが、いま無事に大手術が終わり再びふるさと東北の地へ帰ろうとしています。音楽のまちであるこの高崎でまずは復活の第一

声を発していただき、さまざまな願いと希望を込めてお見送りをしたいと思います。以前にも増して多くの方々の心に、勇気と希望と夢の音色を響かせてくださることでしょう。そのため奇跡の生還劇だったのだともいえます。ピアノプラザ群馬さん、高崎市総合福祉センターさん、沢田まゆみさん、甲賀英明さん、ご支援くださった市民の皆さん、ロータリーの仲間たち、本当にありがとうございました。



安藤震太郎ガバナー挨拶



中森隆利会員



被災ピアノ所有者
堀内繁喜さんご一家



全員で故郷(ふるさと)を合唱



会場で集まった義援金
220,360円を贈りました



ピアノ演奏 澤田まゆみさん



ジャズピアノ演奏 甲賀英明さん

■出席報告 (8月2日)

会員総数	33名
出席計算会員数	30名
当日出席者	23名
会場出席率	76.67%

例会場・事務所 / 高崎ビューホテル 高崎市柳川町70
TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733
E-mail : takasaki-cent@rid2840.jp
例会 / 毎週火曜日 18時30分